

事務事業名		上下水道料金等徴収業務民間委託事業		会計		水道事業		実施区分				
H28担当課名		経営管理課		H28係等名		料金係		H27係等名			料金係	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり								
		施策	45	居住基盤の向上								
目的	対象(誰・何を)	上下水道料金						指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	サービスの充実(営業時間の拡大等) 経営効率の向上(徴収事務経費の削減、収納率向上)						対象指標	水道料金調定額(千円) 消費税込みの決算額	1623594		
	向上させたい上位施策の成果指標	水道普及率(%)							下水道料金調定額(千円) 消費税込みの決算額	1921604		
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	水道料金収納率(%)				98.2	98.2	98.2	-			
	成果指標	下水道使用料収納率(%)				99.3	99.4	99.3	-			
定性目標												
事業概要	個々の事業を従来の手法により手直しをするのではなく、現行の徴収業務の定型的な部分を民間の専門業者に外部委託することにより、サービスの充実、経営効率の向上を図る。											
27年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	これまでに引き続き、事業を行う。				委託業務の運営				通年			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		79,988	79,988	79,988	79,988	財源は水道料金及び下水道使用料						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他		79,988	79,988	79,988	79,988							
一般財源												
人件費計(千円)②		1,788		1,788								
正規職員所要時間		500		500								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		81,776	79,988	81,776	79,988							
事業内容・目標達成状況の振り返り	毎月の定例会において委託業務の状況の確認を行い、市民サービス及び業務の精度の向上を行なった。業務内容を、複数の社員が共有する体制を取るよう指示を行った。											
改革改善の考え方	①問題点	定型的な業務について、従前の手法にとらわれ、改善の意識が低くなる傾向が見られること。1人の社員が専門的に担当する業務ができ、他の社員に共有されていない状況がある。										
	②改革提案	市の職員などの外部の職員により、業務の実施の状況を確認し、改善すべき事項を提案する。										